

ICOM

IP ADVANCED RADIO SYSTEM

IP501M

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本書では、注意事項と基本的な取り扱いを記載しています。本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

<p>下記URL、またはQRコードから弊社ホームページにアクセスして、[フリーワード検索]欄に製品名を入力すると、取扱説明書を検索できます。</p>	
アイコム株式会社 取扱説明書 ダウンロード http://www.icom.co.jp/support/download/manual/	

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社	高品質がテーマです。
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32	A7543W-1J Printed in Japan
201909	© 2019 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

- 保証期間中は**
お買い上げの販売店にお問い合わせください。保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

- 保証期間後は**
お買い上げの販売店にお問い合わせください。修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- 保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- 弊社製品のお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。**お問い合わせ先**
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313（フリーダイヤル）**◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、06-6792-4949**（通話料がかかります）**受付（平日 9:00～17:00）**
電子メール：support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

安全上のご注意

- **使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。**
- **次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△危険

- **引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**
火災、爆発の原因になります。

△警告

- **病院など、使用を禁止されている区域では電源を切ってください。**
電子機器や医用電気機器に悪影響を与える原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
- **マイクロホンのケーブルを持って、マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください。**
本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。
- **DC電源ケーブル(付属品)や接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱したりしないでください。**
ショートして、発火の原因になります。
- **接続がゆるかったり、DC電源ケーブル(付属品)や接続ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。**
ショートして、発火の原因になります。
- **長時間使用しないときは、安全のため本製品に接続する電源を取りはずしてください。**
発熱、火災の原因になります。
- **雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、本製品のDC電源ケーブルや接続ケーブルには、絶対に触れないでください。**
感電の原因になります。
- **ぬれた手でDC電源ケーブル(付属品)、または本製品に触れないでください。**
感電の原因になります。
- **指定以外のヒューズを使用しないでください。**
感電、けがの原因になります。
- **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。
- **次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。**
 - 指定以外の電源や電圧を使用しないでください。
 - DC電源ケーブル(付属品)を接続するときは、⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性を間違えないように十分注意してください。
 - DC電源ケーブル(付属品)のヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
 - 本製品のDC電源ケーブルにホコリが付着した状態で使用しないでください。
 - 本製品のDC電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
 - 指定以外のDC電源ケーブルを使用しないでください。
 - 線材のような金属物を入れたり、水につけたりしないでください。
 - 製品の分解や改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。
- **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△注意

- **針金などの細い棒で、マイクジャックに触れないでください。**
故障の原因になることがあります。
- **本製品のマイクジャック部分に金属片やゴミを付着させないでください。**
ショートして、発火の原因になることがあります。
- **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に設置しないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- **指定以外の別売品を使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

- **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- **長時間使用すると、無線機本体の温度が高くなりますので、無線機に触れないでください。**また、周囲の人が無線機に触れないようにご注意ください。
やけどすることがあります。
- **−10℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。**
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。
- **電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。**
ラジオやテレビなどに電波障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。
- **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。
- **本製品の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。
- **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。ただし、ケーブルなどのプラグ(先端)部分は、絶対に水を含ませた布でふかないでください。

防塵/防水性能について

マイクロホンを無線機本体に接続することで、IP54の防塵/防水性能があります。次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。
○ 雨の中や水滴が付き、またはぬれた手で、マイクロホンや外部スピーカーを付けたり、はずしたりしたとき
○ スピーカーマイクロホン(HM-241)、またはテンキー付きマイクロホン(HM-230)を接続していない、または正しく接続されていない
○ 落としたりして、強い衝撃が加わったとき
○ 本製品を分解、または改造したとき
○ 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
○ 水や海水につけたとき
○ −10℃～+60℃以外の環境で使用したとき

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

医用電気機器近くでの取り扱いについて

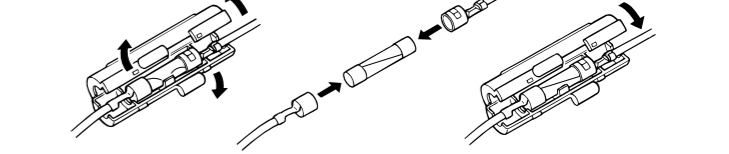
植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。
○ 植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して使用してください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。
○ 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。
○ 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
● 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
● 病棟内では、本製品を使用しないでください。
● ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
● 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
○ 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

電波法上のご注意

○ 本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。
○ 使用できるのは、日本国内に限られています。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用しないでください。

ヒューズの交換について

DC電源ケーブル(付属品)には、2本のヒューズ(125V/5A)が使用されています。
※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいもの(付属品)と交換してください。



ファームウェアの自動更新について

本製品は、自動的にファームウェアが更新されることがありますので、あらかじめご了承ください。
※更新中は、本製品をご利用いただけませんのでご注意ください。

取り扱い上のご注意

- SIMカードの交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。移動局として車内に設置する場合、炎天下では、車内の温度が極端に上昇し、本製品に悪影響を与えます。また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。
- 車載運用では、バッテリー保護のためにも、1日の使用が終わったときは、必ず本製品の電源を切ってください。
- 磁気カードを無線機に近づけないでください。磁気カードの内容が消去されることがあります。
- パソコンやその他の周辺機器の取扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。

○ サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
○ 本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

付属品

□ スピーカーマイクロホン(HM-241) :1
□ DC電源ケーブル(約3m) :1
□ マイクハンガー(取り付けネジ一式を含む) :1
□ 予備ヒューズ(125V/5A) :2
□ 車載ブラケット(取り付けネジ式*¹を含む) :1
□ スポンジ*² :1
□ LTEアンテナ*³(同軸ケーブル 約3m) :2
□ シート*² :1
□ GPSアンテナ(ケーブル長 約5m) :1
□ ご使用になる前に(本書)
□ 圧着端子(バッテリー接続用 R2-6) :2
□ 保証書

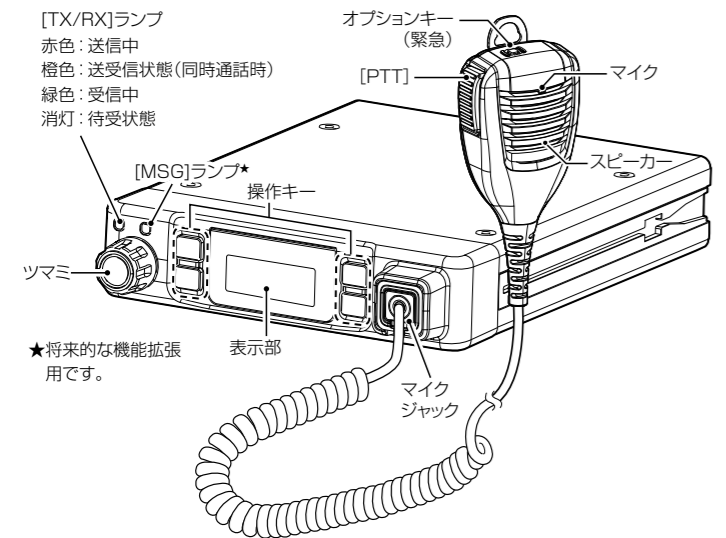
- ★1 別売品のPS-230Aiに本製品を固定するときにも使用します。
- ★2 車載ブラケットを使用して本製品を車内に固定するとき、必要に応じて取り付けします。
- ★3 LTEアンテナ付属のクリーナーで、貼り付ける場所のゴミや汚れをきれいに取り除いてください。

取り付けについて ○各取り付け方法については、弊社ホームページに掲載のIP501M取付ガイド(PDFファイル)をご覧ください。安全のため、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼されることをおすすめします。 ○本製品とバッテリーを接続する前に、DC電源ケーブル(付属品)、およびイグニッションケーブルを配線してください。また、LTEアンテナの取り付けや各種配線については、車両ディーラーや本製品をお買い上げの販売店にご相談ください。
--

ご注意
技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていますので、付属のLTEアンテナ以外は使用できません。十分な性能でご使用いただくため、付属のLTEアンテナは、必ず2本とも接続してください。
※LTEアンテナは、保護シートをはずして、電波を受信しやすい平らな場所に貼り付けてください。
また、LTEアンテナ同士は、30cm以上はなしてください。
※電波状況が悪いと感じられたときは、LTEアンテナの設置場所を変更してください。

各部の名称

■無線機本体(前面部)/HM-241



ツマミの操作

長押し	—	電源ON/OFF
回す	待受画面	音量調整
	各種画面	アドレス帳や履歴画面内などのカーソル移動

オプションキー

よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択するとき、または電話を切るときなどに使用するキーです。

※お買い上げの販売店で機能が設定されている場合に使用できます。

ご注意

◎マイクロホンを接続するときは、「カチッ」と鳴るまで差し込んでください。

◎誤動作の原因になりますので、無線機の電源を入れたままマイクロホンを取り付けたり、取りはずしたりしないでください。

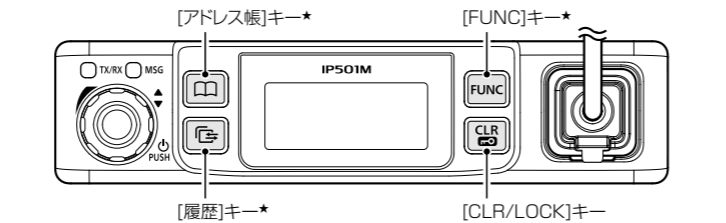
◎故障の原因になりますので、前面部のマイクジャックにLANケーブルを接続しないでください。

■表示部



	電波の強度を3段階(目安)で表示 ※通信モードが3Gの場合は3Gと電波の強度(3G)、LTEの場合は電波の強度だけが表示されます。
	点滅：サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合(圏外) 点灯：IP無線コントローラーに繋がっていないとき(未レジスト)
	全体/グループ呼び出し
	トークグループ呼び出し
	個別呼び出し
	電話(発信/着信)
	Bluetooth接続時
	ポケットビープ機能が設定されている呼出種別があるとき ※設定された呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせします。
	Pベル機能が設定されている呼出種別があるとき ※設定された呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音でお知らせします。
	ロック機能動作中
	点滅：GPS測位中、点灯：GPS測位完了

操作キーの使いかた



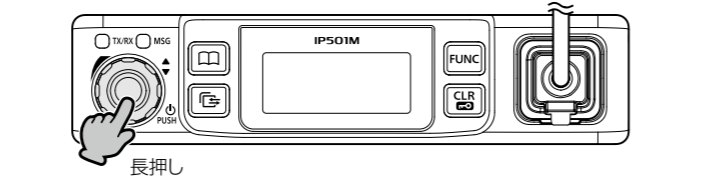
★お買い上げの販売店で機能が設定されている場合に使用できます。

 [アドレス帳]キー	アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。 キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ*)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。 ※アドレス帳が無効になっている場合は、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出せます。
 [履歴]キー	短押し キーを短く押すごとに、履歴*が切り替わります。 ※表示される履歴は、送信、受信、メッセージ送信*、メッセージ受信、電話発信*、電話着信*です。 長押し 迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出し*するときには操作します。「緊急」と表示されるまで、キーを長く押しします。
 [FUNC]キー	送信するメッセージやプレゼンス、所属するトークグループ*を選択するときに操作します。
 [CLR/LOCK]キー	短押し メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。 長押し ロック機能をON/OFFします。 ※[PTT]とツマミは、ロック中でも使用できます。

電源を入れる/音量を調整する

■電源を入れる

本製品を取り付けた車のエンジンをかける、またはツマミを長く(約1秒)押しします。

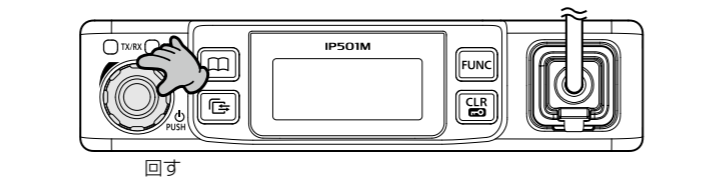


※待受画面が表示されるまで、お待ちください。

※サービスエリア外、または電波の届かない場所の場合は、 (圏外)が点滅表示されます。

電源を切るときは 本製品を取り付けた車のエンジンを切る、またはツマミを長く(約1秒)押しします。 ※「電源OFF…」の表示が消えるまでお待ちください。 ※卓上電源装置(別売品：PS-230A)をご使用になる場合、電源を切るときは、本製品の電源が切れたことを確認してから、卓上電源装置の電源を切ってください。本製品の電源が入った状態で卓上電源装置の電源を切ると、通信回線や基地局の障害、本製品の故障などの原因になります。

■音量を調整する

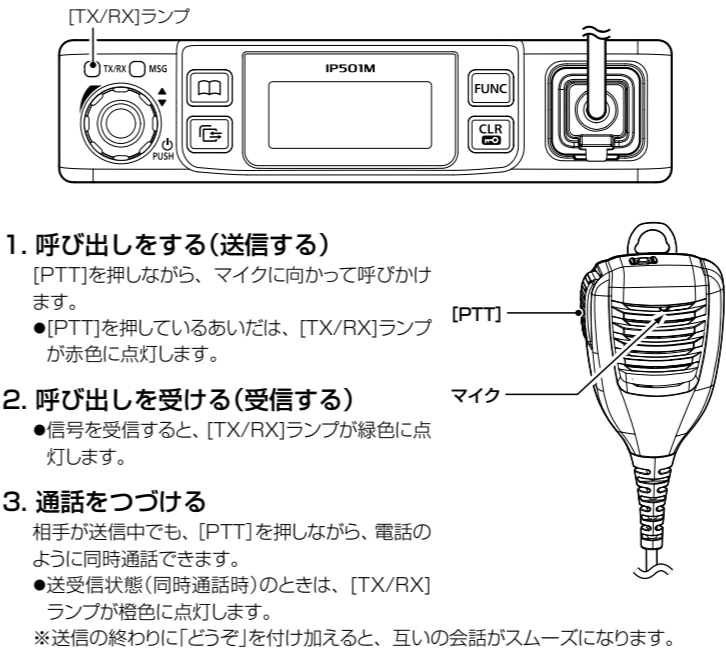


ツマミを回すと、音量が調整できます。

※相手の音声聞きやすい音量レベル(0～32)に調整してください。

※音量が最小のときは、操作音(ビープ音)や受信した音声聞きません。

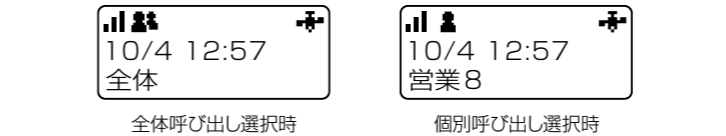
交信のしかた



交互通話(単信通話)の場合 お買い上げの販売店で単信通信が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。 ※相手の通話が終了してから、送信してください。 ※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。
--

呼出種別(呼出先)について

「アドレス帳からの呼出」が有効に設定されている場合は、本製品の[アドレス帳]キーを押して、呼出種別(呼出先)を切り替えられます。

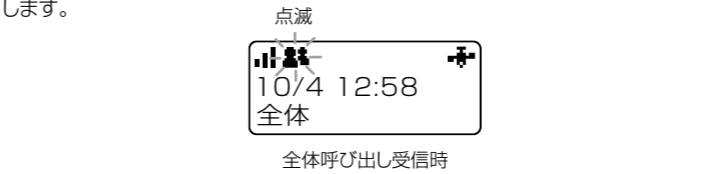


※ツマミを回すと、アドレス帳から相手先(例：営業8)を選択できます。

※無効になっている場合は、[PTT]を押すと、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出します。

呼び出しモード表示

呼び出しやメッセージを受信したとき、電話から着信したときは、アイコンが点滅します。

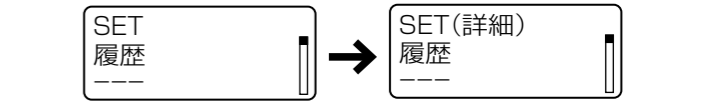


SETモードによる機能設定

本製品の各機能を変更できるSETモードには、基本と詳細の2種類があります。
※SETモードを解除するまで、送信や受信ができません。

1. SETモードに移行する

- ①待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押しします。
- ②「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
 - SETモードの基本画面が表示されます。
※基本画面の状態ですら[FUNC]キーを長く(約3秒)押しすと、詳細画面に移行します。(下図参照)



2. 設定を変更する

- ①[アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、項目を選択します。
- ②ツマミを回し、設定内容を変更します。
 - ※ほかの機能も変更するときは、手順①と②の操作を繰り返します。

3. 変更を確定し、SETモードを解除する

- [PTT]、または[CLR/LOCK]キーを押します。
●SETモードが解除されます。
※リセット(初期化)、FIRM UP、履歴削除については、[履歴]キーで操作します。

設定できる機能について お買い上げ時の設定によって、表示される設定項目や初期値が異なりますので、販売店にお問い合わせください。 ※各機能については、弊社ホームページに掲載のIP501M取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

ご参考に

■「F」表示が点滅しているときは

本製品の表示部で「F」表示が点滅しているときは、新しいファームウェアをダウンロード中です。



◎更新中の画面が表示され、自動的に再起動するまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

◎「F」表示の点灯がつづく場合は、ご都合のよいときに、電源を入れなおして再起動してください。

■別売品について

本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。
※別売品については、弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。 本製品の設定について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。
